

「INNOVATION」 実践のポイント

23.常に先を見据えた成長への貪欲な姿勢	2
24.オープンイノベーション	3



23.常に先を見据えた成長への貪欲な姿勢



● 感性を研ぎ澄まして 未来社会のニーズを先取りし、失敗を恐れず、革新的な製品・サービスの創造 に挑戦し続けます。

序文

私たちは、HUMAN を思考の中心に据えながら、変わること・手放すことをおそれずに、未来を「次の 100 年単位」で発想します。

行動の手引き

(1) 感性を研ぎ澄ます

私たちは、社会やお客様の隠れたニーズを明らかにしたり、気づいてもいない新しい価値を創出したりするために、想像力と創造力を磨き上げます。

(2) 未来社会のニーズを先取り

私たちは、これまでの経験の積み重ねや伝統を大切にするとともに、未来から今をバックキャスティングすることで、起こりうる変化と課題を察知し、その対応・解決に努めます。これからも私たちは、自分自身の世代だけでなく、子供や孫やその子孫たちが自分と同じ年になったときのことをイメージし、持続的な革新に取り組みます。

(3) たゆまぬ変革と挑戦

私たちは、世の中が変わっていくことに受け身で対応するだけではなく、世の中を変えていくために自らプロアクティブに、新しい変革に挑戦します。

(4) 長期ビジョン

私たちは、「未来の社会を支える会社」という長期ビジョンに沿って、社会の抱えるさまざまな問題と自社の持つ強みから、注力すべき重点領域を特定し、事業機会の取り込みを図ります。

特に関連する SDGs









24.オープンイノベーション



● 多様な意見や視点の化学反応を活かし、よりよいアイディアや技術・手法を生み出します。また、既成概念や従来のやり方を打ち破り、自らを変革し続けます。

序文

私たちは、内外の多様な知見を融合させます。待っているだけではなく、自ら足を運び、知見を広げる努力をします。

行動の手引き

(1) さまざまな種類のイノベーション

私たちは、新しいアイディアをビジネス機会に変化させ、さらにそれらが広く社会で用いられるように努めます。具体的には、さまざまな視点で、まだ見たことのないやり方を追求し(プロセス・イノベーション)、新しい製品・サービスを生みだします(プロダクト・イノベーション)。

(2) オープンイノベーション

私たちは、新事業創出に向けて、オープンイノベーションにも取り組みます。研究開発や生産・販売などを社内のみで完結させるのではなく、社外を含めた幅広いネットワークを形成し、共同研究や情報交換・人材交流などを進めます。

(3) 事業横断·交流

私たちは、常に自部門のみならず、グループ全体で組織横断的に、人財・技術の交流に努めます。このような取り組みを通じ、専門性の異なる人間同士の化学反応を起こし、今までなかった価値を創造します。

特に関連する SDGs



